

箱根組ニュース

第291号 2017年 2月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

新年最初は大山参り。山頂周辺は積雪多くアイスバーンも。下山後はゆったり入浴と宴会！

1月15日(日)、小田急線新宿駅7時1分発の急行小田原行きに乗車。伊勢原駅に7時59分着。降り立ったのは、及川、神山、川名夫人、宗像夫人、奥村、星野、和田、戸丸の8名。

8時20分発の大山ケーブル行きのバスに乗ろうと駅前のバス停に向かうとすでに大勢の乗客が並んでいた。大学入試センター試験の会場も近くにあるとの事でそのバスも待っていて、なおさら混雑していたようだ。それでも何とか全員ぎりぎり乗り込むことができた。

8時50分、バスを降りて歩き出す。大山コマにちなんで「コマ参道」と名付けられたという石段の続く道を登ってゆく。両側には土産店や大山豆腐の料理店が並んでいる。石段は326段との事。(ケーブルに乗らないで男坂を行けば2000段、女坂は1500段とか。)

雲井橋を渡って石段を上るとケーブル駅に9時頃到着。たくさんの人がケーブル待ちで並んでいる。70人ほど乗れるらしいが、2回待ち？で9時10分発

の臨時車両に乗れた。出発して高度をぐんぐん上げると相模湾が見えてきて満員の車内から歓声が上がる。江の島朝日に輝いていた。6分ほどで終点、阿夫利神社の下社着。下社の見晴らしのいいところでストレッチをする。大きな茅の輪をくぐってお参りをする。

9時56分、神社の左方向に歩き出す。すぐに右側に急な石段が現れる。これを登って林の中の山道になる。石段の多い山道はなかなか歩きにくい。

10時16分、6丁目。山頂手前が28丁目だったのでまだまだ長い道のりだ。9丁目を過ぎた辺りに大きな木が左側に現れる。根を大きく広く張って枝ぶりも見事なものだ。

10時33分、12丁目。このあたりから周囲にうつすらと雪が確認できる。

10時43分、14丁目。ここには牡丹岩の看板がある。足元の岩をよく見ると丸く球形に牡丹の花のような形が確認できる。

10時49分。15丁目。小休止。直



ぐ上に天狗の鼻突き岩がある。大きな岩に丸い穴が開いていて天狗が鼻を突いて開けたと言われているとの事。こぼしが入るくらいの穴だ。このあたりから雪が次第に多くなってくる。

11時、16丁目追分。左からのルートと合流する。左、蓑毛90分、山頂までは40分とある。

11時14分、富士見台。20丁目だ。富士山は山頂は残念ながら見えなかったが雪をかぶったすそ野が両側に広がっていた。

11時37分、24丁目。登山道の雪が多くなり、いよいよここでアイゼンを着けることにする。ちよつと苦労して全員装着完了。付近には雪の上に鹿の二本爪の足跡がくつきりと付いている。

11時57分、26丁目。大勢の登山

現在の収支	32165 円
繰越収入	円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	30765 円

切手残数	
82円切手	112枚
40円切手	131枚

客と一緒に一列に雪道を慎重に登る。12時、青黒い鳥居をくぐる。12時5分、山頂エリアに到着。山頂付近は一面に雪が広がっている。

相模湾が大きく広がり。大島や、江ノ島、鎌倉など湘南方面の街並みが一望だ。伊豆半島や三浦半島などがよく見える。

冷え込んでいて寒さも厳しいので雪のない場所を選んで短めの昼食とすることにする。それでも持ち寄りの美味しいものが行ったり来たり。

記念撮影をして、12時50分出発。下山は日向薬師方面に下りてゆく。

急な下りにもたくさん雪があつて滑らないように慎重に下つてゆく。しかし普段あまり雪と触れ合うことがないのでとても楽しい。

1時12分、唐沢峠方面の分岐が左に現れる。ここを通る。

2時過ぎ、登山道は雪がすっかりなくなり乾いた道になる。少し上り坂になりこれを登る。

2時28分、見晴らし台着。東京方面の街並みがよく見える。スカイツリーが小さい

次回は2月19日(日) 龍崖山(246m)です。

ラクダコース 歩行2時間半位

龍崖山は天覧山、多峯主山の南、入間川を挟んで反対側に位置する山です。

飯能駅から徒歩1時間半位で山頂です。帰りは入間川沿いを歩いて1時間ほどで飯能駅に戻ります。

※何か汁物を作ります。

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、ポットにお湯、カップ、**食器**、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

申し込みは2月17日(金)までに

集合 2月19日(日)
西武池袋駅 7:35発
急行飯能行き(前から3両目車内)

途中駅発
石神井公園 7:45 ひばりヶ丘 7:50
所沢 8:00 西所沢 8:03
飯能 8:24着

交通費 池袋→飯能(片道470円)

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/

がはつきりと確認できた。ベンチで小休止。

2時35分、出発。右に戻るように20分ほど行けば下社のケーブル駅に行けるが、我々はまっすぐ日向薬師方面に進む。乾いた尾根道にススキの穂がなびいている。

相模湾と湘南方面の街並みが木々の間から見える、だんだんと標高が低くなってくるのがわかる。ミツマタの花が今にも咲きそうに蕾を下に向けている。

地図に九十九曲がりを書いてあるポイントに来了。いろは坂ではないが、小さな九十九折れが続き疲れた体に膝に



衝撃が来る。

3時23分、舗装の林道を横切り、すぐまた山道を降りてゆく。石雲寺まで1キロとある。クマ目撃情報の少し古い看板が張り付けてある。

3時35分、小さな沢に丸木を数本つなげた橋が掛けてある。横にある建物が日向ふれあい学習センターだ。「日帰り（バーベキュー）宿泊施設です」とある。一人ずつ渡ってくださいというこの橋を渡る。

3時37分、車道に出る。看板に大山山頂へ2時間5分。日向薬師バス停に35分とある。

数分下ってゆくと今日のお目当ての日帰り入浴のクワハウス山小屋に到着。以前から気なっていたが、立ち寄るのは初めてだ。どんなとこだろうと入ってみると、なかなか素晴らしい。道路からそのまま入ったところが2階で受付とレストラン。洒落た薪ストーブが真ん中で燃えていて煙突がまっすぐ天井まで伸びている。下ってゆくと1階でそこは河原と同じ位置で、そこには割とゆったりと広い川沿いのお風呂と畳敷きの休憩室。入浴料は650円。

さっそくお風呂に入ると、脱衣所に1名、浴室に2名いらしたが、私が入るといつの間にか一人になり貸し切りでぬ

るめのお湯にゆつくりと浸かった。

隣の女性用からはメンバーの声が聞こえたが6名でやはり貸し切りだったようだ。お湯は沢の水を使っているようだが循環式ではなく沸いたお湯をどんどん流し込んでいって快適だった。

湯上りは貸し切りのお座敷で生ビールやら焼酎やら好みの飲み物で乾杯。大山豆腐の冷奴や湯豆腐、ピザや、空揚げなどなかなかおいしかった。応対も家族的で飾ることはないが、とてもゆつくりのんびりできた。

時間を忘れて楽しんでいたが、バス停まではまだ30分ほどの距離、ホームページで、食事をした人はバス停まで送ってくれると書いてあったので、若いおかみさんに聞いてみると「はい、大丈夫ですよ」とあっさり了解してもらってほつと安心。7名ですので2回に分けてお送りしますと、かわいい車で日向薬師のバス停まで送ってもらった。

バスに乗るとそれほど待つことなく出発。伊勢原駅から電車の揺れに身を任せ帰路に着いた。2017年の最初を飾るいい1日でした。

※2017年夏の予定

7月 南アルプス仙丈ヶ岳テント泊
8月 群馬・玉原高原バスツアー

